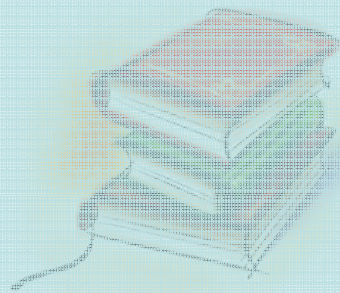




デジタルコンテンツと図書館

愛知大学
時実 象一
tokizane@aichi-u.ac.jp



事件

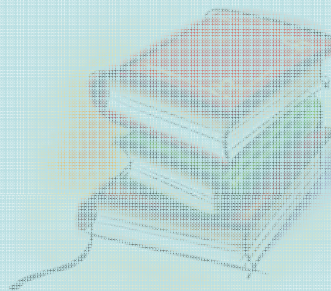
事件



- Google Book Search の和解が成立
 - 日本の作家も影響受けることがわかる (2009. 2)
- 国立国会図書館の蔵書電子化
 - 補正予算 127 億円が決まる (2009. 6)
- Amazon Kindle が日本でも販売 (2009. 10)

3

背景



電子書籍とは



- 書籍 (単行本・シリーズ) が電子化されたもの
 - 過去に発行された書籍をスキャンでデジタル化
 - Born Digital
 - 冊子体と同時に発行
 - オンラインのみ

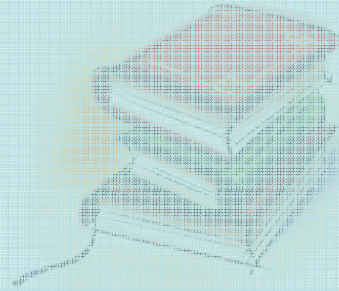
5

電子書籍の発展



- 欧米図書館での講読 (PC での閲覧)
 - 大学図書館が先行
 - 公共図書館も
- 専用端末機
 - Amazon Kindle (iPhone も対応)
 - Sony Reader
 - Barnes & Noble Nook
- 日本は携帯が先行
 - コミック、小説

6



学術分野の電子書籍

学術分野の電子書籍



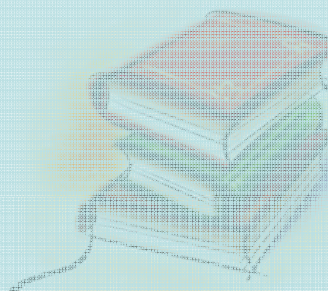
- 提供形態
 - 電子ジャーナルと同じ: PDF, HTML
- 出版社
 - 学術出版社
- 提供者
 - eBrary, NetLibrary, Books24x7, Safari Books Online, MyLibrary, Knovel, CRC, 各出版社

わが国の学術電子書籍



- OCLC NetLibrary
 - 凸版が協力 (日経産業 2009/10/1)
- 丸善「化学資料館」

9



一般分野の電子書籍 (海外)

一般分野の電子書籍



- 提供形式
 - PDF, EPUB, Mobipocket, Kindle
- 出版社
 - Random House, McGraw Hill, harperCollins, Harlequin, Hachette, Penguin, 他
- 提供者
 - OverDrive
 - Adobe Digital Editions
 - Kindle

11

提供形式



- PDF
 - リーダー
 - PC, Sony reader, Kindle, Nook

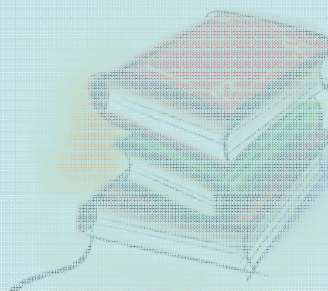
12

DRM



- Digital Rights Management
 - コンテンツのアクセス、複製、印刷などの管理
- 一般向けは原則 DRM がある
 - 多くはダウンロード可
 - 印刷も可
 - コピーはできない
 - 利用日数は貸出し日数

13



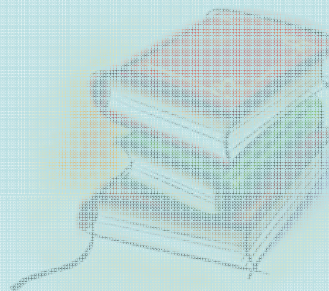
一般分野の電子書籍 (日本)

日本の非学術電子書籍



- モバイル
 - 携帯電話、ゲーム機 (DS, PSP)
 - コミック、小説
- PC
 - 電子貸本
 - 図書館向けはこれから
 - 出版社が乗り気でない
- 形式
 - XMDF, Book Surfing

15



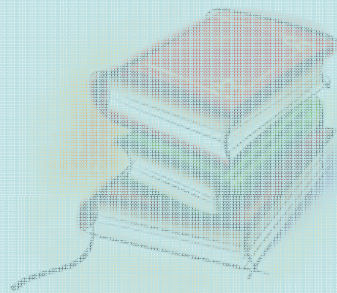
書籍のデジタル化

書籍デジタル化プロジェクト



- Google Book Search
- Internet Archive
- 国立国会図書館
 - 近代デジタルライブラリー
 - 蔵書電子化プロジェクト
- 青空文庫

17



Google Book Search

Google Book Search



- Google の書籍データベース
 - 図書館プロジェクト
 - 図書館の蔵書をデジタル化
 - 出版社プロジェクト
 - 出版社から本またはデータ入手

19

Google Book Search



- 2004. 12 Google Print Project 発表
 - Harvard University
 - Stanford University *
 - The University of Michigan *
 - The University of Oxford
 - The New York Public Library
 - 2005. 11 Google Book Search と改名
- * は著作権残存書籍も電子化

20

進行状況



- 7,000,000 books
 - 1,000,000 from 20,000 publishers
 - 6,000,000 from library partners
 - 1,000,000 public domain
 - 4-5,000,000 in-copyright, but majority out-of-print
 - Daniel J. Clancy, Google, quoted by Barbara Quint.
<http://newsbreaks.infotoday.com/nbReader.asp?ArticleId=51429>

21

著者・出版社の訴訟



- 集団訴訟
 - 米国作家協会 (Authors Guild)
 - 米国出版社協会 (Association of American Publishers: AAP)
- Google は著者・出版社の許諾を得ずに複製をおこなっており、著作権法違反である
- 米国の著作権
 - 1923 年より前の著作物は Public domain
 - 作家が出版社に著作権譲渡している場合が多い
 - 日本との違い

22

Google の主張



- これまでアクセスできなかった情報へのアクセスを提供するのであるから「公正使用」である。
- 著者・出版社に対して新しいビジネス機会を提供している。
- すべての著者・出版社の許諾を得るのは現実的でない
- 著者・出版社は掲載を拒否できる (opt-out)

23

和解の成立



- 2008. 10 に Google と米国作家連盟 (Authors Guild) と米国出版社協会 (Association of American Publishers: AAP) との和解が成立

24

和解の合意 (2008. 10)



- Google はデジタル化を継続
- デジタル化の補償金 (著者・出版社に支払い)
 - \$45 million
 - \$60/copy
- In-Copyright, Out-of-Print の書籍の扱いが変更
- 和解金 \$120 million
 - 訴訟費用と Book Rights Registry に使用
- Book Rights Registry (和解金のうち \$45 million)

25

日本への影響



- ニューズウィーク日本版 2009/2/25 号に Google が
広告掲載
- 本の全文検索、波紋 米グーグル、ネット公開へ準備
 - 朝日 2009/2/23 朝刊
- 日本の作家びっくり！申請なければ全文が米グーグルDBに
 - 読売 2009/2/25

26

日本への影響



- 日本の著作者も和解に拘束される
 - 全文公開される可能性
 - 日本の書籍は in-copyright でも out-of-print とみなされる (米国で入手困難)
 - 公開されないためには「公開拒否」または「除外」申し出が必要
 - 公開拒否 2011/4/5 まで
 - 除外通告 2009/5/5 まで
- 日本文芸家協会などは対応検討

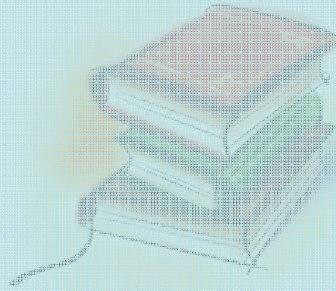
27

その後の展開 (3)



- 2009/11/15 修正和解案提出、検索書籍、英米圏のみ
- 2009/11/21 最終公聴会は 2010/2/18 に決定

28



Internet Archive

Internet Archive

- Brewster Kahle が 1996 年に創設
– The Presido of San Francisco に本部



30

Internet Archive



- Brewster Kahle (ブリュースター・ケール)
 - MIT コンピュータ科学工学科卒 (1982)
 - Thinking Machine に入社
 - WAIS (Wide Area Information Servers) 開発
 - WAIS, Inc. 設立 → AOL に売却 (1995)
 - Internet Archive 設立 (1996)
 - Alexa 設立 → Amazon に売却 (1999)

31

インターネット・アーカイブ



- 本のデジタル化
 - Open Content Alliance
 - 1ドルブック・プロジェクト
 - Bookmobile
- 動画のデジタル化
- Web サイトの保存
 - Wayback Machine
- 100ドル PC プロジェクト
 - One Laptop Per Child (OLPC)



32

各種コンテンツ



- 動画・音楽
 - 許諾を得たコンテンツをデジタル化・公開
- テレビ
 - 各国の番組を 24 時間録画
 - 著作権の関係で公開していない

33

書籍



- Million Book Project (Universal Library) (2002)
 - カーネギーメロン大学との共同プロジェクト
 - カンサス大学の蔵書 10 万冊購入
 - インドでスキャン (平面)
- コーネル大学の蔵書
 - Kirtas 自動めくり撮影装置を使用
 - Scribe を設計・開発 (2005)

34

書籍



- 図書館との協プロジェクト
 - 5 カ国 18 センター
 - 米国議会図書館
 - スミソニアン博物館
 - ハーバード大学図書館
 - ボストン公共図書館
 - カナダ、トロント大学図書館
 - 最近中国とも協力
 - 浙江大学 – 中国の電子化センター (200 万冊)

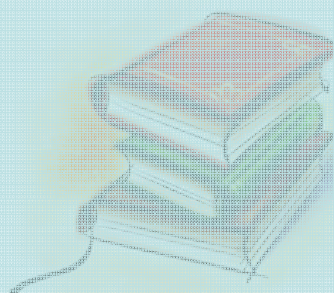
35

書籍



- 完成したデータは Internet Archive の本部に送付
 - OCR
 - RAW, JPEG2000, TIF, PDF, 白黒 PDF, DejaVu, Flip Book などに変換
 - 合計のファイルサイズは 1 ページあたり 1 Mbyte
 - 1 ページ 10 セント
- 出来あがったファイルはすべて図書館のものとなる
 - Google Book (PDF しか提供されない) と異なる
- Internet Archive でもコピーを保存して公開

36



国立国会図書館蔵書電子化

国立国会図書館蔵書電子化



- 近代デジタルアーカイブ
 - やっと 150,000 件
 - 著作権のクリアの費用が 1/3
 - このやり方では現実に追いつかない
- 全蔵書の電子化を希望

著作権法の改正



- 2009. 6
- 国立国会図書館は著作権の有無にかかわらず蔵書を電子化できる
 - 国立国会図書館においては、図書館資料の原本を公衆の利用に供することによる滅失、損傷又は汚損を避けるため、原本に代えて公衆の利用に供するための電磁的記録を、必要と認められる限度において作成することができることとする
- 利用方法については権利者と協議
 - 館内の閲覧が原則

39

2009 補正予算



- 127 億円
 - これまでの予算の 100 年分
 - 2009-2010 にかけて電子化
 - OCR 化は入っていない
- 権利者側
 - 当初は危険視
 - しかしせつかく電子化されるのなら利用を

40